
僕等は井蛹川にて# ~ 留心編 ~

魔狗羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕等は井蛹川にて＼留心編＼

【Nコード】

N4964B

【作者名】

魔狗羽

【あらすじ】

何故、俊人は生きていたのか。敬子が埋めたのは一体誰だったのか。『僕等は井蛹川にて＼移心編＼』（ホラー小説）で起きていた真実がここに！

第一話：電話は聞かれています（前書き）

こんにちは、魔狗羽です。今回この小説のジャンルは『推理』となりましたが、推理というよりも種明かしに近いので、あしからず。

第一話：電話は聞かれています

そう、俺は聞いてしまっていたんだ。

ある日の夜中、喉が渴いたからリビングに行ったんだ。意識は完全でなく、まだぼーっとしていたこともあって、詳しい時間なんかはつきり覚えていない。

そしたら、リビングでは母さんが電話していた。多分話の内容からして、別居中の父さんとだろう。暫く俺はリビングに入ることが出来ず、ドアの前で突っ立っていた。

「いや……そ……ことしく……も……は……できる……」

母さんが小声で話しているからなのか、ドア越したと何を喋っているかわからない。まあ、別に聞く気は無いが。

しかし、話が進むにつれ、母さんが感情的になってきたのか、少しずつ声は聞こえやすくなっていく。そして段々俺の顔は蒼白になっていった。

「……私が……を殺せば……てくれるって……の！？」

何……？殺す……て？

「……俊人を犠牲にし……まで……ようつていうの！？」

は？俺が……犠牲って？

「……わかった。私が俊人を殺す。だから……」

あの日は、一晩中一睡も出来なかった。母さんの声は、とても冗談だとは思えなかった。

「はい、じゃあ授業終わり。次回はもう一段階詳しくやってみるぞ」

そう言って、俺や学校の友達が多く通っている浜塾の数学教師、みちかわ

陌川先生は教室を後にした。

「はぁーっ！疲れたぁ！なあ俊、ライブモンスターズやるーぜ！もう新しいデッキ出来たんだろ？」

ライブモンスターズとは、最近この的浜塾で流行っているカードゲームのことだ。

「ああ！陸也対策で、天使族のモンスターで固めといた」

「マジかよ！？俺負け決定じゃん！」

「甘い甘い。何個がデッキは使い分けてないと」

……どんなに『殺される』の五文字が頭から離れられなくても、皆の前では明るく振る舞ってた。明るく振る舞ってなければいけないと思った。

そしてその晩。俺は決定的なことを聞いたんだ。

俺は毎晩何か母さんが喋っていないか確かめる為に、ずっと寝ないでばれない程度に母さんを見張り続けていたのだ。そうでなくても恐怖で寝られない。

その日はまた父さんらしき人と電話していた。

「え？明日！？そんないきなり……せめて一週間後にして！」

俺はびくつとなった。明日？何が？「私にも心の準備が……必要よ！それに埋める場所だって……」

まさか……。

「え……もう決まって……るの？高丸山の……中……？……わかった。

でも……ほんとにあと一週間はちょうだい……ええ、ありがとう……

……わかってる、それなら新しい包丁買った……」

間違いない、俺の……ことだ。

俺は急いで自分の部屋に戻って、ベッドに入った。

一週間後。高丸山。包丁。

三つの単語が頭から離れなかった。そして俺はこの状況で、自分が生きることを最優先にしたんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4964b/>

僕等は井蛹川にて#～留心編～

2010年10月21日20時27分発行